

ところ会 5 月行事案内

落合川源流と南沢湧水を訪ねる（久米川駅～東久留米駅）

東久留米市にある小河川や湧水を訪ねます。今回は歴史というより自然を訪ねるウォーキングの企画です。

記

■日 時：平成 29 年 5 月 11 日（木）

西武新宿線久米川駅 北口広場 8:45

■見学場所及び時間：コース全長約 11km

久米川駅(8:45)⇒野火止用水⇒万年橋のケヤキ⇒出水川⇒黒目川
⇒新山遺蹟⇒白山公園（休憩）⇒落合川源流…落合川
⇒落合川湧水公園⇒昼食 11:55～（華屋与兵衛）⇒多聞寺
⇒竹林公園⇒落合川⇒黒目川⇒東久留米駅
所沢駅着(予定時間 15:30 頃)

■昼食：華屋与兵衛 11:55～13:00 ☎042-470-0680

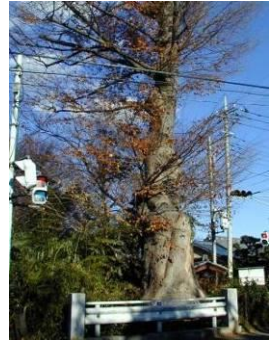
■交通費（所沢から）：約 360 円

所沢から池袋方面に行く電車に乗ると車窓から、秋津駅の手前で柳瀬川、秋津駅を過ぎると空堀川、清瀬駅を過ぎると野火止用水、黒目川、東久留米駅を過ぎると落合川が見えます。こんな川の名前を覚えると電車に乗った時に楽しくなりませんか？ えっ趣味じゃない。そうかもしれませんがこんな小河川や湧水を訪ねます。

野火止用水

玉川上水の開削は玉川兄弟が請け負いましたが、難工事となり川越藩主老中松平伊豆守信綱は家臣の安松金右衛門・小島助左衛門に補佐を命じ工事を続行させ、完成させました。その功績により信綱は領内の野火止への分水が認められました。現在の玉川上水駅のあたりから、平林寺の近くを通り新河岸川に至る全長約 24km の用水路です。松平伊豆守の名前から「伊豆殿堀」とも呼ばれています。

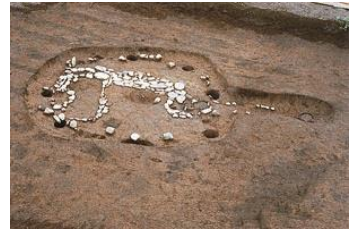
万年橋のケヤキ：野火止用水にケヤキが勢いよく根を延ばして、橋のように流れをまたいでいるので、万年橋のケヤキといいます。昔はケヤキの根を実際に橋として利用していたとも言われています。**東村山市天然記念物。**



出水川（でみず川）：現在は新青梅街道の J マート付近から始まるが、元の源流は萩山にありました。黒目川に合流します。

黒目川：小平霊園の中（さいかち窪）が源流。落合川と合流し朝霞水門の近くで新河岸川に合流します。

新山遺跡：新山遺跡は、黒目川右岸の標高約 60m の台地上にある**縄文時代中期**後半の代表的な集落跡です。41 件の竪穴住居跡と集石土坑を含む 61 基の土坑、配石跡 2 ヶ所などが発見されました。竪穴住居跡は直径約 100m の中央広場を囲むように、弧状に分布していることがわかりました。中央広場の配石跡が祭祀の場、焼けた礫が集まった集石土坑が調理の場と考えられ、居住域の北側には墓域が形成されています。



白山公園：かなり大きな公園で、公園内に湧水があるようです。

ここで、小休憩です。

庚申塔、廻国供養塔：神明橋のそば

庚申塔：享保 18 年（1733）造立

石橋廻国供養塔：宝暦 10 年（1760）南沢邑神明山念仏講中により造立

落合川と南沢湧水群：落合川上流端と表示されている場所では殆ど水がありませんが、川沿いを歩くと湧水で水量が増えていくのが分かります。



東久留米市は、武蔵野台地でも湧水の多いところとして知られてきました。市の中央に位置する落合川流域の南沢地域では、一日に約1万ton、下流部の下谷橋付近では、一日5万tonの流量になります。周囲には豊かな林が広がり、水辺と一体となってさまざまな生物を育てています。



南沢湧水

その清らかな流れは、東久留米市のシンボルといえるもので、多くの市民によってその環境が守られています。一帯は、東京都の「南沢緑地保全地域」、「東京の名湧水 57 選」、環境省の「平成の名水百選」に指定・選定されています。

南沢浄水場：南沢緑地環境保全地域にある湧水の源泉部にあるのが南沢浄水場で巨大な配水塔は遠目からでもよくわかります。南沢浄水所の特徴とは、豊富な湧水を背景に最深 300m 地下から汲み上げる井戸水を全体の配水量の約 25%近くも使用していることです。あとの 75%程度の水は、東村山浄水場から補給されており、それらをブレンドして市内に配水しています。

南沢氷川神社：南沢氷川神社の創建年代は不詳ですが、古くから水の神として奉斎されていたと推定されています。承応 3 年（1654 年）に社殿が再興、江戸時代には南沢村の鎮守として崇敬され、南沢獅子舞は現在も伝承されています。明治初年村社に列格し、現在は近郷の数多くの神職を兼務しています。

落合川水生公園：住宅地の中にあるビオトープのような水辺空間を中心にポケットパークとして整備されており、まるで園芸家が設計したかのように植生が豊か。

昼食：華屋与兵衛 11:55～13:00 予定

（予約は取れませんでしたので、席はバラバラかも知れません）

多聞寺：多聞寺は鎌倉時代創建の寺で鎌倉時代には梅本坊と呼ばれ、修験者の道場でした。その後、毘沙門天を本尊として寶塔山吉祥院多聞寺と寺

号を改め、信仰を集めてきました。**武蔵野三十三観音霊場**のひとつ、また、**東久留米市七福神巡り**の一寺として**毘沙門天**がご本尊です。四脚門の山門は総檜の切妻造りで、嘉永5年（1852年）ごろの建立といわれます。江戸時代末期のこの地方の建築技術を今に伝えており、**東久留米市の有形文化財**に指定されています。



竹林公園：「竹林公園」は昭和57年に「**新東京百景**」に選ばれ、平成15年に「**東京の名湧水57選**」に選ばれた所です。約2000本の孟宗竹は眺めるだけでも圧巻です。また、公園の一面にある武蔵野段丘の谷頭部から湧く水は素晴らしい湧水池を作っています。



庚申塔(老松橋側)：宝暦7年（1757）に造立された庚申塔で、側面には「南保谷村 田無村道 西前沢道 東清戸道」と刻まれ、市内で最も古い道標ともなっています。横には文化元年（1804）の常夜塔があります。



不動明王：市内で唯一の不動明王で、文政9年（1826年）に造立されました。上部に不動明王座像が刻まれ、側面には「落合邑」という当時の村名もみられます。東久留米市指定文化財。

なお、文化財の指定を受けているのは右側の石柱です。



黒目川：落合川は西武池袋線を越えた先で黒目川と合流します。

帰路：東久留米駅～西武池袋線

以上